

## 各施策の実施段階において留意する意見等

### 2(男女共同参画社会の実現)について

<p>主要な施策展開に、「女性の参画を促進するとともに、市役所職員はもとより、教育関係者、事業主や団体等各機関への情報提供・啓発を行います。また、関係機関における現状や促進状況を調査し、男女共同参画の推進に努めます。」を記述する。</p>
---

### 5(市民活動の支援)について

<p>どの地域でも活動団体が抱えている問題について、意見交換をして情報の共有化が図れ、ビジョンを語れるような場を設けるような記述にする。また、組織にかかわらず1つのテーブルにつける場がほしい。</p>
<p>神戸市東灘区では、地域のことなら何でも担当する地域の課題を行政内で横につないで解決しようと言う取り組みが行われている。今後10年間に、地域担当課を設置し、それを担当できるスキルのある地域担当職員の養成を行って欲しい。</p>
<p>市民活動団体がお互いに情報交換ができるコミュニティカフェがぜひ欲しい。</p>
<p>個々の活動がネットワーク化し、市民交流センターやボランティア交流センターも含めその他の拠点づくりやその機能の強化を図り、情報の収集や提供の充実・情報交換の場所づくりなど活動の支援を行うという記述にする。また、市は市民活動を積極的に支援しているとはっきりと明言する。</p>
<p>ボランティアセンターがもっと組織的、機能的なセンターとなるよう資金的に応援し開所日を増やすよう働きかけて欲しい。「福祉活動を充実し、人と人のつながりをつくる活動を支援する」と記述する。</p>
<p>公共施設の受付状況がわかるように、インターネットや電話受付を充実する。</p>
<p>公共施設の利用については、公平性を確保する。</p>

### 6(生涯学習の支援)について

<p>ホームページや市政ニュースなどを活用し、わかりやすい情報を発信してほしい。</p>
--

### 7(公民館・図書館機能の充実)について

<p>同じ学習・研究を行っている企業同士の連携を図り、それに市も加わってはどうか。</p>
<p>中央図書館には駐車場が1台もない。</p>
<p>推進員の選定の仕方についてももっとやる気のある方で構成してはどうか。公募制にしてもよいのでは。</p>

### 8(芸術・文化の振興)について

<p>文化振興にかける予算は削ってはいけない。</p>
<p>日本の歴史・文化を再確認することからはじめる必要がある。</p>
<p>ホール等はたくさんあるが、練習ができ気軽に誰の前でも発表できる場を設けてほしい。</p>
<p>酒蔵コンサート以外でも、アサヒビールが無料でコンサートを行う。民間企業とタイアップして文化振興を図れないか。</p>
<p>食育についても、西宮市の地場産業、生産商品などを企業とコラボレーションして売り出してみてもどうか。その際に広告等を掲載することで財源の確保にもつながる。</p>
<p>アンケート結果をみると文化に対する市民意識は低い。もっと広報していく必要がある。</p>
<p>若手芸術家は舞台に出る機会が少ないため、コンサートを支援するようなことが必要。</p>
<p>文化財については、既にあるものの活用に加え、発掘にも積極的に取り組んでほしい。</p>

### 9(スポーツ・レクリエーション活動の推進)について

<p>スポーツクラブ21の運営等について、体力づくり、健康づくりの面からも、もっと市民に内容を周知してはどうか。</p>
--

## 各施策の実施段階において留意する意見等

### 10(子育て支援の充実)について

主要な施策展開に、「妊婦健診などの負担の軽減に向けても引き続き努力する」旨追加する。
主要な施策展開に、子どもたちには親にかわる安心できる居場所づくりの面からサポート、民営保育所に対する市の監視を加える。

### 11(家庭教育の支援と青少年の健全育成)について

子どもたちが「本物」にふれる機会が少なくなっている。音楽やスポーツなど、本物を見ることで、子どもたちに夢と希望が与えられる。
講演会に行っても、興味のない人に来てもらうことが重要。そのためには、「教育」ということばを使わず「ふれあい」などのことば使いことが大事であり、昔のような井戸端会議的に何でも話せる雰囲気作りが大事。

### 12(学校園教育の充実)について

学び合い学習や補習体制、教材開発など、西宮市独自の学力向上策を行うべき。
学校で障害児が孤立しないようにすべき。
障害にある人と無い人が協同で学ぶ中でお互いに成長する。それが共生の教育になる。そのためには、きちんとしたサポート体制が必要。
学習障害などにもきちんとしたサポートがつくようにすべき。
ネイティブスピーカーによる外国語教育を推進してほしい。
公立高校の学力が低いことについて何らかの対策を。
主要な施策展開に書いている内容で、特別支援教育は「共生の教育」の実現されるということが大切。
教育という観点から、西宮市にゆかりのある人、西宮市在住・出身の著名人に非常勤講師として、小中学校に来てもらい、そこに保護者も入れれば、「親学」もできる。

### 13(信頼される学校園づくり)について

少人数授業などの条件整備と共に教職員の質の向上を図るべき。
教師が自信をもって指導できるようすべき。服装もきちんとして権威をもつべき。
教師が授業に専念できるよう、事務や助手などのサポート体制を充実すべき。
教師はもっと子どもとふれあうべき。子どもの指導以外のことに忙殺されている。
問題が起きたとき、その教師が孤立しているようだ。学校として協力体制をとるべき。
教職員研修・研究については、ハード面・ソフト面両方の充実を図るべき。
学校長が教育委員会の上位下達の仕事になっていないか。教育者として、教育に指導性を発揮すべき。
保護者や地域住民の声をしっかりと受け止め、教育に生かして欲しい。
P T Aが保護者と学校をつなぐ機能を果たしていない。
せっかくP T Aがあるのに、学校評議員制度とうまくリンクしていない。
学校評議員は、学校側が都合の良い委員を選ぶ恐れがあるので、公募で委員を募集すべき。
防犯などの協力はしているが、地域住民が学校教育に参加できる仕組みはないのか。
養護教員の加配・充実を行うべき。
大学と学校園の連携など、モデル校や実験校的な取組みが出来ないか。
校門の警備は下校時まですべき。

### 14(計画的・効率的な学校園施設運営)について

校舎の建て替え時には、デザイン性も考慮して設計・建設すべき。
--------------------------------

## 各施策の実施段階において留意する意見等

### 15(地域福祉の推進)について

	措置から契約への変化、高齢社会になったこと等により高齢者住民の地域福祉に求める度合いや度数が多くなってきている。認定不足による居宅介護サービス不足から食事を充分に取れない状態やケアプラン外の状態になったときはヘルパーがそばにいても何も助けられない状態など困った状態が見られる。また、現代の経済状況を反映してか児童・幼児を取り巻く環境の悪化が招くことによる犯罪の多発、虐待問題などで地域に求められる福祉活動の形態にも変化や多様性が求められるようになった。また、福祉活動をする者の高齢化により活動のパターン化が見られ、福祉活動の掘り起こし、需要の開拓、活動の拡大はなかなか難しくなっている。
	エレベーターや多機能トイレは既にどこにでもある。もう少し電鉄会社にエレベーターや多機能トイレの設置について、言ってもいいのではないか。

### 17(障害のある人の福祉の充実)について

	バリアフリー(交通も含む)、ユニバーサルデザインやノーマライゼーション社会の達成度をチェックポイントごとに数値化する作業を社会福祉協議会に依頼して分区が毎年達成度をチェックするシステムを作る。(自分たちの地域の障害者をもとより妊婦や高齢者福祉に対する認識を深める為にも有効。協働作業が必要である。)
	市役所での正規雇用や仕事場を作って優先雇用するなど、障害者の就労支援を率先して実施している自治体もある。西宮市にもそういう取り組みが出来ないか。
	通院部分については介護・介助が出来るが、院内および入院時の介助には公的支援が無い。自治体によっては、市単独補助を行っているところもあるので、西宮でも何らかの支援を導入してほしい。

### 20(医療サービスの充実)について

	特に癌治療においては様々な治療法や最新の治療法について、市民が相談できる機関を設置する。
	市民病院、県立病院等、中心的な病院ではチーム医療の推進を図る。

### 22(災害・危機に強いまちづくり)について

	自主防災では、市は情報提供によりリードしてほしい。
--	---------------------------

### 24(道路の整備)について

	電線類の地中化は絶対に住民の希望に沿って進めてもらいたい。
	白線を引いて歩道をつくるべき。
	短い区間であっても「虫食い歩道」をあちこちに作って、少しずつ市内の歩道面積を増やしていくべきだ。

### 25(公共交通の利便性向上)について

	鉄道駅が23駅あるという現状に満足せず、鉄道輸送をもっと飛躍的に伸ばす施策を打たなければ、マイカー利用を減らすことはできない。
	阪神甲子園駅にエレベーターを設置してほしい。

### 26(水の安定供給)について

	鉛製給水管の撤去、改善を促進させるための補助制度を設ける。
--	-------------------------------

### 27(下水道・河川の整備)について

	多自然型工法の導入は、改修時に自然に帰すようにしてほしい。
--	-------------------------------

各施策の実施段階において留意する意見等

28(良好な住宅・住環境の整備)について

	高齢者が安心して相談にいける窓口が市役所にあり、その窓口は広く広報されているのか。
	「誰もが安心して暮らせるすまい・まちづくり」など非常に大切な良いことが書かれているが、これらの実現が問題だ。

29(交通安全対策と駐車対策)について

	基本方針において、地域の活用について触れる。
	もっと事業者との協力が必要。
	都市整備の観点で踏まえた交通施策が必要。

30(防犯対策の推進)について

	コミュニティづくりと一体となった計画とすべき。
	宮水学園卒業生の活用などは考えられないか。
	防犯をキーワードに住民、事業者、青愛協などが連携する体制が必要。
	地域別の対策が必要。

32(環境学習都市の推進)について

	子どもエコクラブ活動に学校間で温度差がある。同じレベルになるよう徹底して欲しい。
	まちづくり指標のエココミュニティ情報掲示板アクセス件数でなく、ユーザー数増認知度調査が必要。
	映像での教育機会を増やす。行政でビデオを製作し、学校、自治会などに貸し出す。

34(資源循環型社会の形成)について

	ごみの分別収集を進めるために、ごみ減量の実例をモデル化、映像化して広報する。
	ごみの処理の有料化は慎重に考える。
	ごみ減量対応は、まず多量排出する事業者(商店等)を対象にする。

35(快適な生活環境の確保)について

	ノーマイカーデーについては、行政が率先して実施すべき。
	監視体制では、大気汚染と煤煙の監視体制を強化すべき。

36(美しい都市景観の形成)について

	歴史街道についての説明看板が古くなっている。
	既存マンションの外観について、大規模修繕時に周辺との調和が必要。
	自転車の不法駐輪対策が必要。

39(都市型観光の振興)について

	観光は局部的にならず、全体をみる視点が必要。西宮を歩いていけるまちする。
	全国を相手に出来る甲子園や西宮神社の活用をしていくべき。
	甲山森林公園の夜景は非常に素晴らしいが、多くの市民は知らないといったように観光スポットが市民に身近でないことが問題。
	イベント型の取組みばかりではないか。

## 各施策の実施段階において留意する意見等

### 40(産業の振興)について

	全体を通して、商店街のことにあまり触れていない。空き店舗や後継者問題など、小規模事業者の振興が必要。
	大店舗の進出によって、商店や個店などの経営者は意欲を無くしていつている。意欲ある商店街や人々への支援も必要だと思うが、中小への意欲が湧くような動機付けや支援も必要。
	環境やリサイクル、食の安全といった新しい可能性のある産業に対する支援が必要。
	主要な施策展開(1)で、「大型小売店設置者の協力を得ながら」はおかしいのではないか。市が「大型小売店設置者を指導しながら」というようにしていかなければならない。

### 41(勤労者福祉の向上)について

	主要な施策展開(1)で、国・県への働きかけだけでなく、事業者への働きかけはできないのか。
	65歳定年の実現と若者の完全雇用を国・県に要望してほしい。

### 42(都市農業の展開)について

	若者に農業に参加してもらうため、大学との連携を図るとともに、産業との連携や高齢者の活用による技術者の配置などのセンターづくりが必要。
	「西宮らしさを生かした販路の拡大」については、市は具体的方策が大切。
	地産地消については、学校給食における取組みの啓発や、空き店舗を活用した直売所などの展開が必要。

### 計画推進 7(広報・広聴活動の充実)について

	現実に問題を多く抱えている人は、相談することも場所も判らないため、市民サービスとして、待ちの姿勢ではなく現場に出てゆく相談を受けることが必要。
--	---